



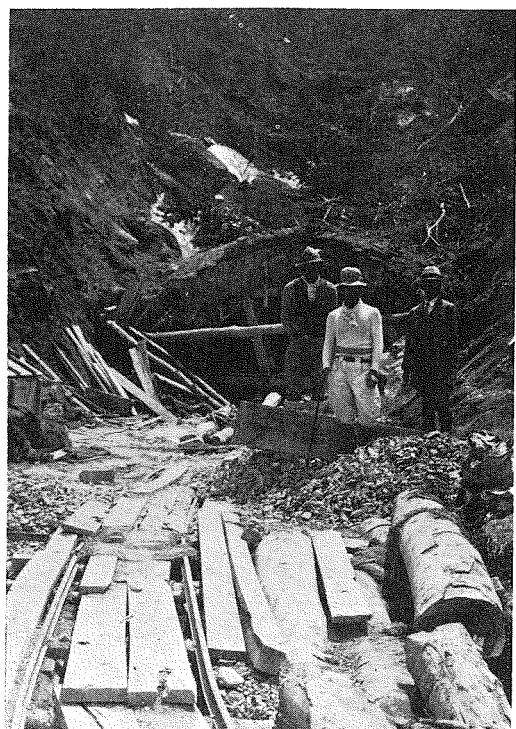
# 大峠隧道

福島縣土木課長

## 大石巖

大峠隧道は明治初年に開鑿して木造隧道としたるも、開通後2個年足らずして墜落し不通となつたものである。而して今回府縣道岩松米澤線改修の前提として、昭和7年12月より同9年度に至る間に、之が開鑿工事を施行することとなつたが、本隧道の成否は直ちに此路線の成否を決するものとして衆人に疑問視せられたのであつた。然るに頗る難工を極めながらも遂に完成し、施工後略1個年を経過せる今日に於ても何等の異状を認めず、目下連絡路線の工事を進めてゐる。

本隧道工事の概要を摘要すれば次の通りで



ある。

位置・府県道若松米澤線、福島縣耶麻郡岩月村と山形縣南置賜郡三澤村に跨る大峰工事概要。隧道延長119米、内福島縣側60米、

山形縣側59米。

道路幅員6米20。

土質は極めて軟弱にして併も湧水甚しく通水設備を施せるも施工困難を極めたり。

捲立は頂部幅4米745、厚半分をコンクリート塊積とし、残餘の部分は場所詰コンクリートを以て逆捲を施行した。

尙本隧道は兩縣界の山頂にあり、前述の如く其成否も判明せざりしを以て、前後道路は全く改修せず、材料其他の

運搬はすべて索道を利用するの止むなき状態にあつた。

工 期・昭和7年12月より昭和9年度迄。

工事關係者・設計福島縣土木課安部春蔵氏監督同石川道太郎氏 現場主任金田段次郎氏、請負福島善作氏。

場所は東北本線郡山驛より磐越西線に乘換喜多方驛下車、徒步約2里、自下道路工事中に付き九月以降は自動車を通じ得る見込みである。附近に會津東山温泉、白虎隊の古跡等あり、又東京雷門より東武鐵道にて藤原（鬼怒川温泉）着、それより自動車にて會津若松市、喜多方町、岩月村根小屋に至り、大峰隧道を經て米澤市に至る。但し根小屋以北は自下自動車の通行困難である。